



日本共産党 品川区議会議員 区政報告
 のだて 稔史
としふみ ニュース

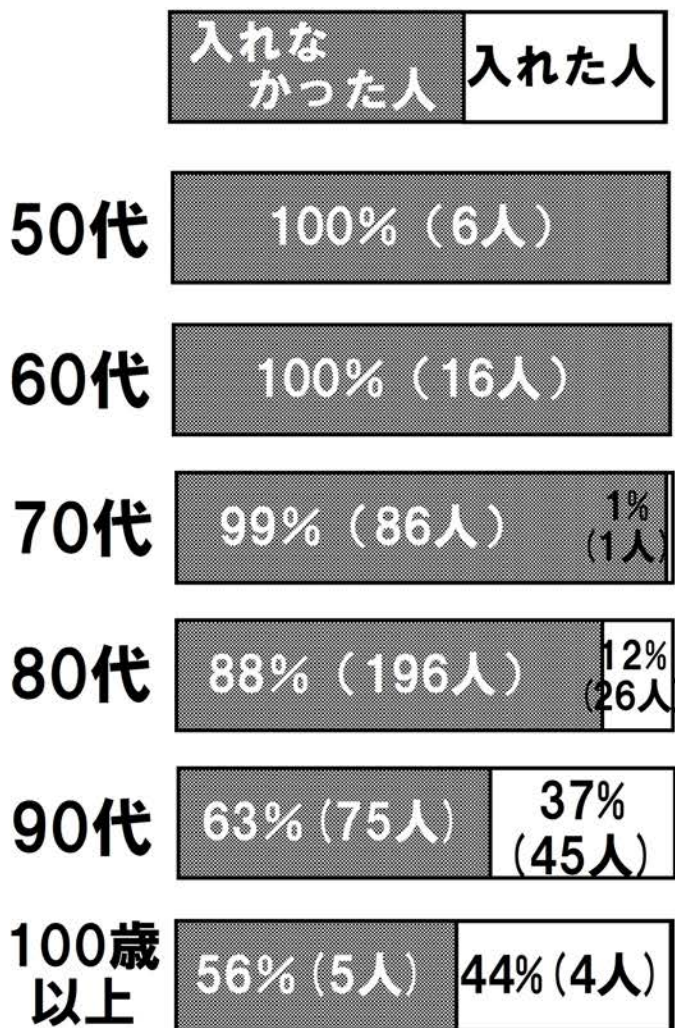
区政報告について
 ご意見、ご要望を
 お寄せ下さい。

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
 区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

介護5でも81%が入れず

特養ホームの増設を

入れなかった人の割合



特養ホームを希望しても入れない
 深刻な実態が浮き彫りになりました。
100歳以上でも入れず
 昨年2月締め切りの入所申込みは
 464人。そのうち入れたのは76人
 のみです。希望者の84%が入れませ
 んでした。
 100歳以上の方でも半分入れず
 (左図)、介護度5でも81%(77人)が
 入れませんでした。

整備率23区最下位
 こうした状況にもかかわらず区長
 は特養ホームと老健施設の整備を
 実績に掲げました。
 実際には特養と老健の合計整備率
 は23区で最下位です。
 区が特養は「もうつくらない」と
 11年つくらなかつたため最低の整備
 率になってしまいました。
 ウラへ続く

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、33歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所
 で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

共産党はこうした実態を示し、特養ホームの増設を求め続けてきました。

区民から提出された増設を求める請願署名にももちろん賛成をしましたが、自民・公明・民主などが区民の声に背を向け続けてきました。

そんな中、粘り強い署名活動と議会論戦が力となり、区の「もうつくらない」という方針を変えさせ、この間5か所の増設と林試の森公園隣の国・都有地への増設も実現させることができました。

しかし、11年増設しなかったために現在計画されている数を足しても23区最下位に変わりはありません。

今年2月の特養ホームへの入所申込みでも488人の申請がありました。90歳以上の方は117人、要介護5の方も89人の申し込みです。
更なる増設は急務です。

お金も土地もある

共産党は増設計画を持って具体的に進めていくべきだと追及しました。

区は「在宅を望む方やご家族が環境を

変えたくない」と入所をしない方もいる」と答弁しました。

そうした方を仮にすぐに必要な方ではないとしたとしても300人以上待っていることに変わりはありません。

区には福祉を削って貯め込んだ約100億円の基金があります。

100人規模の特養ホームは建設費約26億円できると区も答弁しています。

基金を計画的に活用すれば増設は可能です。

また、土地も荏原四中跡地や旧一日野小跡地など区所有の土地もあります。

新たに購入する必要もない土地もあり、場所に面でも増設は可能です。

施設が圧倒的に足りない特養ホームの増設を進めるために全力を尽くします。

ご一緒に特養ホームをさらに増設させましょう！

ご一緒に特養ホームをさらに増設させましょう！



日本共産党

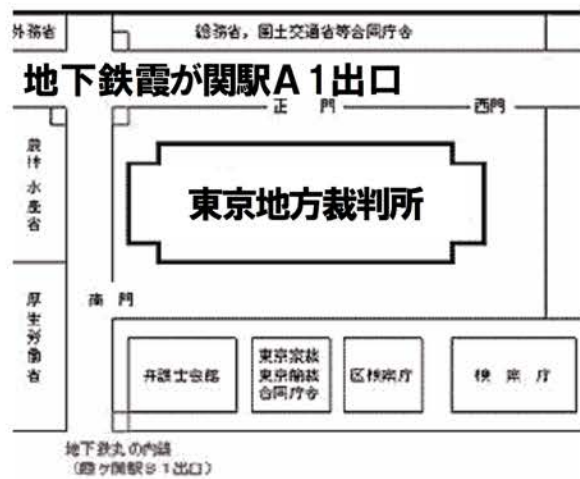
29号線認可取り消し裁判 第6回口頭弁論

3月27日(水)午後2時～

東京地方裁判所103号法廷

(千代田区霞が関1-1-4、最寄駅は地下鉄霞が関駅又は桜田門駅)

原告団長が意見陳述をします。ぜひご参加下さい。



日比谷公園